

6 月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

総務経済常任委員会

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
<p>(1) 一般質問から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【再質問：これからの出水期の備え、避難所運営担当する職員へのワクチン優先接種の必要性も検討すべき】から。出水期前にコロナ禍における避難所運営や、避難指示に関わる変更（国からの通知）を踏まえた町の災害対応について現状調査。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の政策として5月から緊急事態宣言が出され、町内事業所の多くが売上の大幅な減少を招いた。約1年半経っても収束が見えない状況が続く中で国の経済対策の届かない地元中小企業への、町の経済対策及び支援策を、追跡調査すべきと考えます。
<p>(2) 質疑（討論）等から</p>
2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
<p>(1) 一般質問から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余剰ワクチンの取り扱いについてはルールが決められたが、希望する町民全てに速やかなワクチン接種を完了するためには、予約枠の空き状況を有効活用するなど「接種機能の無駄」を無くす取り組みについても町の見解を明らかにしてほしい。また、町長が答弁した優先接種を予定している職種の方々（保育士、町立学校教職員等）への接種準備状況などについて確認をお願いしたい。
<p>(2) 質疑（討論）等から</p>
3 議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・今回も改めて一般質問について議運からの見解「吟味・精査されたものを」とのメッセージが出された。「吟味・精査」が意図するものは「より良い質問を」することなのか「実質自粛を求める」ことなのか計り知れなく、今回、通告をためらわれた議員もいらしたのではなかろうか。「より良い質問」については、3月定例会議の振り返りでも一般質問事前検討会など、他の同僚議員の意見を伺いながら行う「より良い質問づくりへの取り組み」について提案したが、その際には、議会全体で取り組むのではなく、有志での取り組みで良いとまとめられている。より良い質問（吟味・精査された）を行うのは、コロナ禍に限ることではなく、平時からそうあるべきであると考え、このようなメッセージを改めて出すことで、通告することを控えようと考えた議員が今回いらしたとしたら、議員の一般質問を追跡し、政策に結びつけようという取り組み

みを行なっている当議会としては大きな損失になるのではないか。そのようなミスリードのない発信を希望します。管内他自治体の状況を見てもこのような対応を取る議会がどれほどあったのかを鑑みると、今回のような対応が正しかったのかどうか、全議員での協議を希望します。

4 その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分らなかった点など）

- ・緊急事態宣言下、委員会などリモート会議が進められてきている中、16日一般質問から全協まで長時間となり違和感を覚えた。議長発出を踏まえて、一般質問の時間短縮や文書質問を推奨するなど、職員の負担軽減を考えることも必要ではないかと思えます。
- ・オンラインを活用した委員会運営について、6月28日開催された総務経済常任委員会においても協議を行っているが、「感染予防」の観点から改めて課題提起する。5月17日に開催された第1回災害対策会議において決定されたオンラインの活用については「現状（感染状況）を鑑みてオンラインを積極的に活用・推進する姿勢」で取り組むことが決定されている。しかしながら、当委員会において今回オンライン参加をした委員は2名だけであり、6月8日に開催された第3回総務経済常任委員会においては1名だけという実績であった。接触機会を減らし感染防止に取り組むことがオンライン活用の主目的であれば、委員会室に参集する委員がいない状況を目指すべきである。オンラインを活用する意義について、正副委員長が参集する必要性も含め、改めて検討の必要があると考える（完全オンラインでの開催）。他自治体議会に先駆けて条例改正に取り組んだものの、それが実の伴わない改正に終わらぬよう、全議員で再度共通認識を持つ機会が必要ではないか。